

【河川】「第7回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」をTV会議にて開催 ～令和元年東日本台風による甚大な被害を受け、今後の防災・減災対策の方向性を議論～

令和2年5月25日
福島河川国道事務所

概要

○令和元年東日本台風（台風第19号）に伴う出水により、阿武隈川流域では流域全体で甚大な浸水被害が発生したことを受け、協議会※を開催し、沿川市町村長等により今後の防災・減災対策の方向性についての議論を行いました。

※阿武隈川上流では、近年の雨の局地化・激甚化を踏まえ、今後発生しうる大規模な浸水被害に備えるため、沿川市町村・県・国による『減災対策協議会』を平成28年4月から設置

日時／実施状況

東日本台風に伴う出水における対応や今後の防災・減災対策に関する主な発言内容

【福島市長】

- ・国や県の改修と併せて市の工事を実施することで、河川全体の安全性を高めていく。国土強靱化地域計画を2月末に策定したことも併せて、国と連携していきたい。
- ・5/16に感染症対策防災訓練を実施した。今後、避難の分散化等、感染症対策を取り組んだ避難のあり方を模索していきたい。

【郡山市長】

- ・阿武隈川沿線は17市町村、県人口の55%が居住している。阿武隈川が県全体に与える影響は大きい。
- ・都市計画と河川計画が相互に連携する必要がある。また、感染症対策も検討しなければならない。

【須賀川市長】

- ・令和の大改修に大変期待、ハード整備を進める必要がある。
- ・須賀川市は浜尾遊水地等、流域に一定程度貢献できていると思う。
- ・今後は支川も含め、国・県・市町村で連携し、流域全体での対策整備が必要。

- 日 時：令和2年5月25日（月）13:00-14:20
- 場 所：福島河川国道事務所 3階 防災センター
- 出席者：12市町村長を含む19名が出席
（オンライン会議）

議事内容

- ・東日本台風の出水概要について
- ・緊急治水対策プロジェクトについて
- ・意見交換

各関係機関の説明状況（一部抜粋）



協議会の様子
(福島河川国道事務所 3F 防災センター)

